

2024年度 通信教育実施計画

教科	情報	科目	社会と情報	単位数：2単位
情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解させ、情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するとともに効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報社会に積極的に参画する態度を育てる。				
スクーリング	1単位時間×4回	合格時間数：2時間以上	教科書	東京書籍 情報I
レポート	全4通	合格通数：4通	副教材	なし
メディア学習	全6通	合格通数：6通	単位認定試験対策プリント	4通
高校通信講座	あり	講座数：全20回	単位認定試験	12月 ※8月、1月、2月
評価	5段階評定、観点別評価の実施			

	単元・指導項目	指導内容	スクーリング	レポート	メディア学習 確認書
4月	情報で問題を解決する	<p>情報化が社会に及ぼす影響を理解させるとともに、望ましい情報社会の在り方と情報技術を適切に活用することの必要性を理解させる。</p> <p>情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用するために、情報の特徴とメディアの意味を理解させる。</p> <p>個人認証と暗号化などの技術的対策や情報セキュリティポリシーの策定など、情報セキュリティを高めるための様々な方法を理解させる。</p>	前期2回	No1 提出	No1 No2 提出
5月	情報を伝える	<p>情報のデジタル化の基礎的な知識と技術及び情報機器の特徴と役割を理解させるとともに、デジタル化された情報が統合的に扱えることを理解させる。</p> <p>コミュニケーション手段の発達をその変遷と関連付けて理解させるとともに、通信サービスの特徴をコミュニケーションの形態とのかかわりで理解させる。</p>			
6月		<p>情報通信ネットワークの特性を踏まえ、効果的なコミュニケーションの方法を習得させるとともに、情報の受信及び発信時に配慮すべき事項を理解させる。</p>			
7月	コンピュータを活用する	<p>コンピュータで利用するソフトウェアの種類について、用途とともに理解させる。</p> <p>プログラムを作成するために必要なアルゴリズムについて認識させる。</p> <p>プログラムについてはPythonを例にとり説明する。</p>	後期2回	No2 提出	No3 No4 提出
8月	復習/単位認定試験※対象者のみ	半期の学習内容の復習を行い、不足部分を補う。			
9月	復習	半期の学習内容の復習			
10月	データを活用する	<p>インターネットの仕組みと情報セキュリティを確保するための方法を理解させる。</p> <p>データの種類とデータベースの活用について理解させる。</p>	No3 提出	No4 提出	No5 No6 提出
11月		<p>データ分析の目的とデータ分析の方法を理解させる。</p>			
12月・1月	活動して提案する	<p>どのような場面で情報機器を利用するかを考えさせる。</p> <p>集めたデータをプレゼンテーションする方法についても理解させる。</p> <p>2進法の計算についても軽く触れる。</p>	No4 提出	No4 提出	
単位認定試験					
2月	復習	半期の学習内容の復習を行い、不足部分を補う。			

## 2024年度 通信教育実施計画

教科	情報	科目	社会と情報	単位数：2単位
情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解させ、情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するとともに効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報社会に積極的に参画する態度を育てる。				
スクーリング	1単位時間×4回	合格時間数：2時間以上	教科書	東京書籍 社会と情報
レポート	全4通	合格通数：4通	副教材	なし
メディア学習	全6通	合格通数：6通	単位認定試験対策プリント	4通
高校通信講座	あり	講座数：全20回	単位認定試験	12月 ※8月、1月、2月
評価	5段階評定、観点別評価の実施			

単元・指導項目	指導内容	スクーリング	レポート	メディア学習 確認書
4月	情報の活用と表現  情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用するために、情報の特徴とメディアの意味を理解させる。  情報のデジタル化の基礎的な知識と技術及び情報機器の特徴と役割を理解させるとともに、デジタル化された情報が統合的に扱えることを理解させる。  情報を分かりやすく表現し効率的に伝達するために、情報機器や素材を適切に選択し利用する方法を習得させる。	前期2回	No1 提出	No1 No2 提出
5月	情報通信ネットワークの仕組みと情報セキュリティを確保するための方法を理解させる。  情報通信ネットワークによりコミュニケーションの幅が広がることを理解させる。		No2 提出	
6月	コミュニケーション手段の発達をその変遷と関連付けて理解させるとともに、通信サービスの特徴をコミュニケーションの形態とのかかわりで理解させる。			
7月	情報通信ネットワークの特性を踏まえ、効果的なコミュニケーションの方法を習得させるとともに、情報の受信及び発信時に配慮すべき事項を理解させる。			
8月	復習/単位認定試験※対象者のみ 半期の学習内容の復習を行い、不足部分を補う。	No3 提出		
9月	復習 半期の学習内容の復習			
10月	情報化が社会に及ぼす影響を理解させるとともに、望ましい情報社会の在り方と情報技術を適切に活用することの必要性を理解させる。		No4 提出	
11月	情報モラル・情報セキュリティ  個人認証と暗号化などの技術的対策や情報セキュリティポリシーの策定など、情報セキュリティを高めるための様々な方法を理解させる。  多くの情報が公開され流通している現状を認識させるとともに、情報を保護することの必要性とそのための法規及び個人の責任を理解させる。			
12月・1月	情報社会の課題と望ましい情報社会の構築  情報システムの種類や特徴を理解させるとともに、それらが社会生活に果たす役割と及ぼす影響を理解させる。  人間にとって利用しやすい情報システムの在り方、情報通信ネットワークを活用して様々な意見を提案し集約するための方法について考えさせる。  情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して問題を解決する方法を習得させる。	単位認定試験		
2月	復習 半期の学習内容の復習を行い、不足部分を補う。			